

PNX-D79

azur

取扱説明書

ナビゲーション機能操作編



お買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

- 安全に正しくご利用いただくため、ご使用前にこの『取扱説明書』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

目次

お使いになる前に

ナビゲーションシステムについて	5
免責事項	5
ナビゲーション機能について	5
本ソフトの情報について	6

はじめに

ナビゲーション・ソフトウェアの特徴	8
GPS測位について	9
地図に表示される記号	9
地図データベースについて	10
地図データの取り扱い	10
安全上のご注意	11

ナビ機能の基本操作

ナビゲーションを起動する	13
地図画面の見かた	14,15
地図のスクロール	15
メニュー画面について	16
地図ビューの変更	17
地図方向（ビュー）	17
地図背景色	17
ボタン透明化	18
音量設定	18
ガイド音量	18
ルートガイド	18
オービス案内	18
取締ポイント案内	18
案内画面：一般道路のルート案内	19
道路切換機能について	20
案内画面：高速道路2画面ルート案内	21,22
拡大図の表示・非表示について	22
ルートの再探索について	22
オービス案内について	23

目的地を探してルート案内する

目的地を探してルート案内する	25,26
現在地の設定とルート探索について	26
目的地の道路設定について	26

目次 (つづき)

目的地を検索する

名称から検索する	28
住所から検索する	29,30
電話番号から検索する	30
ジャンルから検索する	31
検索履歴から検索する	32
周辺施設から検索する	33
施設情報表示〔SA／PA〕	34
施設情報表示〔道の駅〕	35

ルートを編集してルート案内する

ルート編集～ルート走行の流れ	37
ルートを編集してルート案内する	37,38
ルート計算方法について	39
ルート計算時の注意点	39
経由地を設定する	39,40,41
経由地設定時の注意点	41
ルート全景画面とルート案内	41
ルート編集画面について	42
ルート全景画面について	42
デモ走行を行う	42

ナビゲーションの設定

設定を変更する	44
地図表示：地図色	44
地図表示：地図上の文字サイズ	45
地図表示：走行軌跡表示	45
地図表示：一方通行アイコン	45
地図表示：スクロールモード	45
地図表示：自転車アイコン色	45
ランドマーク設定	46
探索設定：自動再探索	46
探索設定：探索条件	46
探索設定：フェリー利用	47
探索設定：スマートIC利用	47
探索設定：時間規制考慮	47
案内設定：トンネル・アシスト	47
案内設定：専用レーン情報案内	47
案内設定：合流案内	48
安全運転ガイド：事故多発地点案内	48
安全運転ガイド：踏切案内	48
安全運転ガイド：一時停止案内	48
安全運転ガイド：ライト点灯案内	48,49
安全運転ガイド：急発進注意案内	49

目次（つづき）

ナビゲーションの設定

安全運転ガイド：トンネル案内	49
GPS受信状態を確認する	49
バージョン情報を確認する	49

登録地の使いかた

登録地について	51
自宅を登録する	51
地点を登録する	51
登録地から検索する	52
登録地を編集する	52

故障かな？と思ったら

GPS測位	54
地図画面	55
ルート設定	55

ソフトウェア仕様

ソフトウェア仕様	57
----------------	----

お使いになる前に

お使いになる前に

ご使用前に必ず本書をよくお読みいただき、内容を理解してから正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。

ナビゲーションシステムについて

- ナビゲーションシステムとは、地図上に目的地や目的地までのルートに登録することにより目的地までの道案内をするシステムのことです。
- ご使用するときは、運転中には操作を行わず、必ず安全な場所に停車して操作してください。
- 本ソフトウェアの仕様やデザインなどは、改良のため予告なく変更することがあります。

免責事項

- 使用を誤ったとき、故障による修理などに、登録されていた内容が変化、消失した場合、当社は補償を行いません。
- 事故や業務用で利用されている場合の損害（事業利益の損失など）についての補償は行いません。
- ナビゲーション機能および地図データは、道路上での使用を前提に作られています。
船舶や航空機の航行補助装置や登山用の地図など、本来の使いかたから逸脱した使用により生じた損害については、当社は責任を負いかねます。
- 業務用のバスやトラック、タクシー、商用車などに使用した場合の保証はできません。

ナビゲーション機能について

- 本製品はGPS情報を利用したナビゲーションです。
GPS測位ができない場所では現在地表示、ルート案内などのご利用はできません。
- 目的地までの距離、所要時間、到着予定時間は目安としてご利用ください。
- GPS誤差により、交差点・右左折の地点までの距離に誤差が生じる場合があります。
- 地図は定期的に更新しておりますが、新しい道路に対応していない場合もあります。
- 隣接して平行な道路がある場合、GPS誤差により隣の道路を誘導する場合があります。
この場合は「道路切換」機能により変更することができます。
- 車線情報は実際の道路標識とは異なる場合があります。
- 経由地は5箇所まで設定することができます。設定する時はなるべく広い道路上に設定してください。
- 細街路は案内しますが、実際の道路状況や交通規制を優先して走行してください。
- ルート案内には、曜日、時間、大型車の通行などの規制は考慮されません。
- 走行軌跡は電源を切ると消え、記録されません。
- 離島などで道路にて通行できない場合は、ルート案内ができません。
一部のルートについてはフェリーを利用するルートを案内しますが、フェリーによるルート案内ができない場合もあります。
- 緊急を要する施設（病院、警察、消防など）の検索や案内は、本製品だけに頼らず該当施設へご確認ください。
- 本製品では地図表示用データとルート探索用データをそれぞれ持っていますので画面上に表示される道路と実際にルート探索に利用する道路は一致していない場合があります。ルート探索データのない道路上に出発地・経由地・目的地を設定した場合は、そこから直線距離で一番近い探索データがある地点をルート探索の実際の設定地点になります。
- 本製品はスマートIC情報が収録されていますのでスマートICを利用するルートを案内する場合があります。
スマートICはETC専用ICです。ETC車載器を搭載していない車両はご通行できません。
必ず、ETCカードを車載器に挿入してご通行ください。また、利用できる時間帯や車種などに制約がありますので、ご理解の上ご利用ください。

お使いになる前に（つづき）

本ソフトの情報について

- 経路探索は2万5千分の1地形図（国土地理院発行）の主要道路において対応しています。但し、一部の道路では探索できない場合があります。また、表示された道路が実際は通行が困難な時がありますのでご注意ください。実際の道路状況や交通規制を優先して走行してください。
- 地図データは㈱ゼンリンよりリリースされたものです。
- 電話番号検索データはハローページをもとに作成しています。

※本ソフトに使用するデータは、おおむね以下の年月までに収集された情報に基づいて作成されております。

	使用データ	2018年10月※
地図	道路データ（高速・有料道路）（注1）	2018年10月
	道路データ（国道・都道府県道）	2018年8月
	交通規制データ	2018年9月
	レーン情報	2018年9月
検索	住所検索データ	2018年9月
	電話番号検索データ（法人のみ）	2018年4月
	50音施設名称検索データ	2018年8月
	施設・ジャンル検索データ	2018年8月
	周辺施設検索データ	2018年8月
画像	高速分岐イラスト	2018年10月
	高速出口後方面イラスト	2018年8月
	高速出口後分岐イラスト	2018年10月

注1） 2018年10月メデータ&2019年3月までの主要道路開通情報を収録しています。

2018年10月以後の開通道路は以下を参考にご利用ください。

- ☐ 有料道路以上、かつ、弊社で影響度が大きいと判断し、かつ、図面が入手できた道路のみをご提供しております。
- ☐ 開通前に取得できた情報のみ反映しておりますので現地の状況と異なる可能性があり、実際とは異なったルート案内をする可能性があります。
 - ・道路形状の違い
 - ・規制の違い
 - ・接続する一般道の道路状況
- ☐ 1/25,000背景図及び道路ネットワークデータが対象となります。誘導系画像、検索データ等は反映されておりません。
- ☐ 道路形状及び道路NWのみ反映されており、その他注記等は反映されておりません。
- ☐ 道路形状は100m以下のスケールにのみ反映されており、250m以上スケールでは表示されません。
- ☐ 一部の道路では50m以下のスケールで道路形状が表示されない場合があります。

はじめに

はじめに

ナビゲーションソフトウェアの主な特徴を説明しています。

ナビゲーション・ソフトウェアの特徴

ナビゲーション機能

■目的地検索

- ・検索履歴:一度検索した地点は200件まで自動的に保存され、ルートを設定することができます。
- ・名称検索:名称を直接入力して検索できます。(約222万件)
- ・電話番号検索:全国の法人と公的機関番号(ハローページ)約562万件により検索できます。
- ・住所検索:住所(都道府県→市区町村→町名→丁目→番地・号)から検索できます。(約3,858万件)
- ・ジャンル別検索:公共・観光等の施設ジャンルから検索できます。(約238万件)
- ・周辺施設検索:現在地の周辺施設(GS、銀行、コンビニなど)を検索できます。(周辺最大20件)
- ・緯度経度検索:緯度、経度を直接入力して検索できます。
- ・登録地点検索:登録地点は最大500件まで登録して利用することができます。
- ・データ編集作業により一部の検索データは重複する場合があります。

■各種ルート計算

- ・おすすめ、有料優先、一般優先(500km以内のみ)、距離優先(300km以内のみ)の4パターンのルート計算方法から選択することができます。
- ・全国の細街路までルート案内ができます。
- ・ルートの色を区分して表示します。
- ・経由地を設定することができます。(5ヶ所)
- ・複数ルートを探索して比較することができます。

■ルート走行

- ・車の進行方向に合わせた地図表示(ヘディングアップ)と常時北を上とする表示(ノースアップ)と簡易3Dビューの選択ができます。
- ・ルート上の交差点名を表示することができます。

はじめに（つづき）

GPS測位について

- 次の条件によっては正しいGPS測位ができず、誤差が生じる場合があります。
 - ・強力な電波発生源が近くにある場合。（携帯電話の中継局、携帯電話抑制装置のある建物など）
 - ・周囲が高い建物、高架道路下、ガード下、トンネル、建物内駐車場など上空をささぎるものがある場合。
 - ・雪、雨、曇天などの悪天候による場合。
 - ・衛星配置条件により受信可能な衛星数が少ない時間帯。
 - ・GPS衛星からの電波が建物などで反射して誤差が生じる場合。
- 本製品はGPS情報だけを取得してルート案内を行いますので誤差が大きい場合は正常なルート案内ができない場合がありますので製品での案内を参考にしながら実際の交通規制を優先して走行してください。
- お買い上げ後初めてご使用になる時、または長期間ご使用しなかった場合、電源を入れてから、GPS測位が可能となるまでに長時間かかり、またGPS測位可能となっても、しばらく誤差が大きい場合があります。
- 同じ車両に複数のカーナビゲーション機器を設置すると、誤作動する場合があります。

地図に表示される記号

	都道府県庁舎		美術館		サッカースタジアム
	市役所・特別区庁舎		博物館		墓地
	町村役場・政令指定都市区役所庁舎		銀行		冬季通行止め
	官公署・市町村役場支所（出張所）		信用金庫		JRA競馬場・ウインズ
	消防署（含む：分署・支署・出張所）		飛行場・空港		ガソリンスタンド
	自衛隊		港		展望タワー
	学校		フェリーターミナル		動物園
	病院		ファミリーレストラン		植物園
	警察署・交番・駐在所		山頂		水族館
	図書館		工場		ゴルフ場
	海水浴場・（湖水、池）水泳場		交差点		温泉
	デパート・スーパー・ショッピング施設		サービスエリア		スキー場
	ホテル・旅館・宿泊施設		パーキングエリア		遊園地
	史跡・旧跡・観光名所		インターチェンジ		テーマパーク
	神社		ジャンクション		キャンプ場
	城・天守閣		料金所		スタジアム
	寺院（仏閣、地藏）		ランプ（出入口）		大学
	教会		ランプ（出口専用）		短大
	城跡		駐車場		高専
	郵便局		運動施設		高校
	カー用品店		公園		中学校
	その他目標施設		マリナー		小学校

はじめに（つづき）

地図データベースについて

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の50万分の1地方図、2万5千分の1地形図及び電子地形図25000を使用しています。（承認番号 平29情使、第444-B198号）」

この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料H・1-No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を使用しています。（承認番号 国地企調発第78号 平成16年4月23日）

この地図の作成に当たっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。（測量法第44条に基づく成果使用承認 13-061）

交差点案内図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50mメッシュ（標高）を使用しています。（承認番号 平27情使、第1048-001号）

本商品で表示している経緯度座標数値は、日本測地系に基づくものとなっています。

この地図に使用している交通規制データは、公益財団法人 日本道路交通情報センター（JARTIC）の交通規制情報を使用しています。

この地図に使用している交通規制データは、道路交通法及び警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報、公益財団法人 日本道路交通情報センター（JARTIC）の交通規制情報を、MAP MASTERが加工して作成したものを使用しています。

この地図に使用している交通規制データは、2018年9月現在のものです。本データが現場の交通規則と違うときは、現場の交通規制標識・標示等にしてください。

この地図に使用している交通規制データを無断で複製・複写・加工・改変することはできません。

この地図データの著作権は、株式会社ゼンリンが所有しています。したがって無断複製等の著作権を侵害する行為は法律によって一切禁止されています。

(C) 2013 一般財団法人日本デジタル道路地図協会

(C) 2019 ZENRIN CO., LTD

【収録情報について】

この地図データの内容は予告なく変更することがあります。

経路探索用は、2万5千分の1地形図（国土地理院発行）上の主要な道路において実行できます。ただし、一部の道路では探索できない場合があります。また、表示された道路が現場の状況から通行が困難な場合がありますのでご注意ください。現場の状況を優先して運転してください。

交通規制は普通自動車に適用されるもののみです。また、時間・曜日指定の一方通行が正確に反映されない場合もありますので、必ず実際の交通規制に従って運転してください。

道路データは、高速、有料道路についてはおおむね2018年10月、国道、都道府県道についてはおおむね2018年8月までに収集された情報に基づき製作されておりますが、表示される地図が現場の状況と異なる場合があります。

地図データの取り扱い

「本モデル」（「機器」）に格納されている地図データおよび検索情報などのデータの製作にあたって、毎年新しい情報を収集・調査していますが、膨大な情報の改訂作業を行うため誤りが発生する場合や情報の収集・調査時期によっては新しい情報の収録がなされていない場合等、収録内容が実際の状況と異なる場合がございますので、ご了承ください。

お客様は以下の行為をすることはできません。

- ①本ソフトの一部でも、複製、抽出、転記、改変、送信または同時に2台以上の機器で使用する。
- ②第三者に対して、有償無償を問わず、また、方法の如何を問わず、本ソフトの一部でも利用させること。
- ③本ソフトをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルすることその他のこれらに準ずる行為をすること。
- ④その他に本ソフトについて本製品以外の使用または利用すること。

安全上のご注意

安全のために必ずお守りいただくことを説明しています。
交通事故防止等安全確保のため、必ずお守りください。

	警告	人が死亡または重傷を負う危険を避けるために必ず守っていただきたい事項
	注意	人が軽傷を負う危険性や、物的損害を避けるために守っていただきたい事項
	禁止	絶対にしてはいけない事項
	強制	必ず守るべき事項

ご使用になるとき

	本機を自動車および歩行時以外には、使用しない ナビゲーションの性能を発揮できず、事故やけが、火災、故障の原因となります。 本機のルート案内は自動車専用のものです。歩行時には参考としてご使用ください。
	運転中や歩行中に操作したり、画像や表示を注視しない 交通事故やけがの原因となります。 必ず安全な場所に停車してご使用ください。
	歩きながら本機の操作、注視をしない 交通事故やけがの原因となります。 必ず安全な場所に立ち止まってご使用ください。
	本機を救急施設などへの誘導用に使用しない 本商品にはすべての病院、消防署、警察署などの情報が含まれているわけではありません。 また、情報が実際と異なる場合があります。そのため、予定した時間内にこれらの施設に到着できない可能性があります。
	安全な場所に停車して、本機の操作や画面を見る 駐停車禁止場所など危険な場所に停車すると、事故の原因となります。
	ルート案内中でも、常に、実際の交通規制に従う 実際の交通規制や道路状況に従い安全運転してください。無理にナビゲーションに従って走行すると、事故の原因になる場合もあります。道を間違っても後で安全な場所に停車してからルートを再探索してください。
	常に実際の道路状況や交通規制標識・標示に従う 本商品に使用している地図データ、交通規制データ、経路探索結果、音声案内などが実際と異なる場合があるため、運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。
	一方通行表示については、常に実際の交通規制標識・標示に従う 一方通行表示はすべての一方通行道路について表示されているわけではありません。 また、一方通行表示のある区間でも実際にはその一部が両面通行の場合があります。

ナビ機能の基本操作

ナビ機能の基本操作

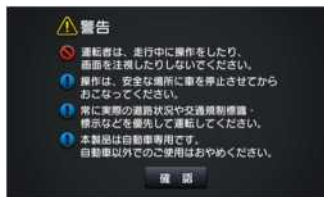
ナビゲーション画面の見かたや基本的な操作方法について説明しています。

ナビゲーションを起動する

本体を起動してホーム画面からナビゲーションを起動します。

1 ホーム画面からナビゲーションを起動する

2 警告画面の内容を確認する



※警告画面が表示されます。警告画面の内容を確認して「確認」をタッチしてください。

※GPSを受信するまでには、出荷時に設定した東京駅を表示します。

※GPS受信後には自動で現在地を表示します。

※正常なナビ機能はGPS受信後からご利用になります。

【通常のご使用時】

- ・GPS電波の受信までには通常数秒～数分かかります。
- ・GPS電波が入りにくい場所では、さらに時間がかかることがあります。
- ・GPS電波を受信しにくい場合は、電波をさえぎるものがない見晴らしのよい場所に移動すると、受信しやすくなります。（時間帯・天候によっても受信感度は異なります。）

※お買い上げ時、または長期間使用しなかった時

- ・GPS電波の受信までには、数分～十数分程度かかる場合もありますが、長時間GPS受信ができない場合は電源を切ってから電源を入れなおしてください。

【昼間夜間の地図表示について】

周囲が暗くなる夜間には、画面が明るすぎて表示されている地図画面などは見えにくくなることがあります。本製品では昼モードと夜モードで画面の配色を変えて、それぞれの見やすい画面を表示します。設定メニューから変更することができます。

本書では、昼モードを例に説明しています。

【マップマッチングについて】

車で使用する時、GPS衛星の電波で測位された現在地を地図データと照らし合わせることで、地図上の現在地表示のずれを補正する機能がマップマッチングです。この機能は地図データにマップマッチングデータのある道路でのみ働きます。

【現在地（自車）マークのずれについて】

現在地（自車）マークの現在地や進行方向は、以下のような走行条件などでずれることがあります。GPS衛星からの電波をさえぎる障害物がない見晴らしの良い場所を、しばらく走行すると現在地の位置が補正され、正常に使用することができます。

- ・緩やかなカーブの長距離走行
- ・近くに似た形状の道路がある所の走行
- ・ループ橋などの走行
- ・地図画面に表示されない道路の走行
- ・新設された道路の走行

3 地図画面が表示される



GPS電波を受信すると現在地が表示されます。（出荷時は東京駅に設定されています。）

ナビゲーション基本操作（つづき）

地図画面の見かた

地図画面の表示方法や操作について説明しています。

【画面のボタンや表示内容について】



（例）現在地の地図画面



GPS電波を受信していない時、丸の状態で動きません。



GPS電波を受信している時、車の向きが進行方向を表示します。

1. 方位／地図方向アイコン

- 地図の方位と地図方向設定を表示します。
アイコンをタッチするたびに地図の向きを切り換えます。



走行方向／3D

走行方向が常に上を向くよう地図が回転します。



北上固定

地図の上が常に北になり、走行時は自転車位置表示の方向が変化します。



3D

進行方向は常に画面の上方向になります。



■ GPS電波受信状態表示

GPS電波受信状況を表示します。衛星の受信数等の詳細は「GPS受信状態」画面から詳細表示します。



GPS電波を受信し、ナビゲーションの機能を利用することができます。



GPS電波が弱いか、入りにくいです。
ナビゲーション機能はご利用できません。

2. 縮尺表示

地図の縮尺を切り換えます。

広域／詳細をタッチして地図を拡大または縮小します。

3. メニュー

メニュー画面を表示します。

【地図画面下部の透明表示について】

地図画面下部の透明度を調整することができます。

画面下部〔A〕をタッチすると、3段階で透明度が調整されます。



ナビゲーション基本操作 (つづき)



(例) 現在地の地図画面



(例) 現在地の地図画面 (QUICKをタッチ)

4. 自車位置表示

自車位置と進行方向を表示します。

※GPS電波を受信しにくいときの現在地の表示は最後に本機の位置を確認した場所になります。
これは、GPS電波を受信していても本機の位置が認識できないときも同じです。また、起動時に本機の位置が確認できなかったときは、現在地は電源を切る前の位置周辺が設定されます。
GPS信号を正しく受信していない場合は地図が正しく表示されません。

5. QUICK

タッチすると、QUICKメニューを表示します。

6. 道路切換

マップマッチング道路を周辺の他の道路に切り換えます。
※道路状態によって切り換えができない場合があります。

7. 登録する

地点の登録を行います。

8. 閉じる

QUICKメニューを閉じます。

9. 住所表示

走行している周辺の住所を表示します。

平面地図画面で地図スクロール

地図上の見たい場所をタッチするか、見たい場所の方向をタッチして地図をスクロールすることができます。

「NAVI設定」⇒「地図表示」⇒「スクロールモード」から地図のスクロール方法を設定することができます。「タップ」に設定された場合は地図上の場所をタッチすると、タッチした場所が中心となるように地図が動きます。

また、スクロールしたい方向の地図画面を長押しすると、タッチした方向に連続でスクロールします。
3D地図画面表示中は、タッチ後、長押しすることで地図が移動します。タッチだけでは移動できません。

「ドラッグ」に設定された場合は地図画面をドラッグして移動させることができます。

スクロールした場所は地点登録するか、目的地に設定するなどの操作ができます。



地図をスクロールし、(A)ボタンをタッチすると、右側に「周辺施設」「登録する」「ここへ行く」ボタンが表示され、機能を選択することができます。

■ 周辺施設

選択した箇所を中心に周辺施設を検索します。

■ 登録する

選択した場所を登録します。

■ ここへ行く

現在地から選択した場所までのルートを探します。

ナビゲーション基本操作（つづき）

メニュー画面について

メニュー画面の表示方法や操作について説明しています。

【メニュー画面の見かたや操作】



ナビゲーション基本操作（つづき）

地図ビューの変更

地図ビューを変更することができます。



地図方向(ビュー)

地図方向を変更します。

〔走行方向〕

常に走行方向が画面の上を向くように、進行方向に対応して地図の向きを変化させます。

〔北上固定〕

常に北が画面上になるように地図を表示します。

〔3D〕

3D画面で地図を表示します。

10mから25kmスケールまで表示します。



走行方向



北上固定



3D

地図背景色

地図背景色を変更することができます。

〔標準〕

地図の背景色をブラウンで表示します。

〔クリア〕

地図の背景色をホワイトで表示します。

〔クール〕

地図の背景色を薄い灰色で表示します。



標準



クリア



クール

ナビゲーション基本操作（つづき）

ボタン透明化

地図画面に表示されるボタンを操作しないまま、約5秒を経過すると、自動で透明化する起動を設定します。地図をタッチしたり、ボタンをタッチしたりすると、透明化を解除します。



（例）ボタンが透明化された画面

音量設定

ガイド音量などを調節することができます。



ガイド音量

ガイド音量を調節します。

-  ガイド音量が大きくなります。
-  ガイド音量が小さくなります。
-  ガイド音量を出力しません。

ルートガイド

ルートガイド音声を設定します。

- 【音声】音声でルートガイドを行います。
- 【警告音】警告音でルートガイドを行います。
- 【しない】音声・警告音によるルートガイドをせず、画面表示のみで案内します。

オービス案内

オービス案内方法を設定します。

- 【音声】音声で案内を行います。
- 【警告音】メロディーで案内します。
- 【しない】オービス案内を行いません。
地図上にアイコンを表示しません。



（例）オービス案内画面

取締ポイント案内

取締ポイント案内方法を設定します。
取締ポイントより約500m、300m、通過点で案内を行います。

- 【音声】音声で案内を行います。
- 【警告音】メロディーで案内します。
- 【しない】取締ポイントの案内を行いません。
地図上にアイコンを表示しません。



（例）取締ポイント案内画面

ナビゲーション基本操作（つづき）

案内画面：一般道路のルート案内

ルート案内画面の表示方法や操作について説明しています。

ルートを設定して一般道路の交差点や高速道路の出入口などを走行する場合は、拡大図を表示します。

【ルート案内画面の見かたや操作】



1. 自車位置

自車位置を表示します。

2. 住所表示

走行している周辺の住所を表示します。

3. ガイド

ガイドメニューを表示します。

タッチすると「道路切換」「再探索」「案内中止」などの機能を選択することができます。

4. 分岐案内情報

交差点や高速道路出入口など、進路変更の方向とその地点までの距離を表示します。

進路変更地点の交差点やインターチェンジの名称と車線情報を表示します。

5. 目的地までの距離と到着予想時刻（参考値）

目的地までの残り距離を表示します。

ルート探索結果によって表示距離が異なる場合があります。

目的地に着く時の予定時刻を参考として表示します。

実際の走行速度により表示内容が変わります。

【交差点拡大図を確認する】



1. 交差点拡大図画面

交差点など進路変更をする地点付近を拡大して表示します。

2. 交差点名表示

画面に表示されている交差点やインターチェンジなどの名称を表示します。（表示されない交差点名もあります。）

3. 地点までの距離表示

進路変更をする地点までの距離を表示します。

※右左折など進路変更がある地点付近では、250m手前から2画面表示になり、右画面では詳細図が表示されます。

※拡大図の車線情報は表示されない場合があります。

※実際の道路上の表示と異なる場合があります。

ナビゲーション基本操作（つづき）

道路切換機能について

隣接して平行した道路を走行しているとき、GPS受信状態により実際に走行中の道路ではなく隣の道路にマップマッチングする場合があります。

その結果、実際の道路とは異なるルート案内を行います。この場合、道路切換機能を利用して実際の走行道路に変更することができます。

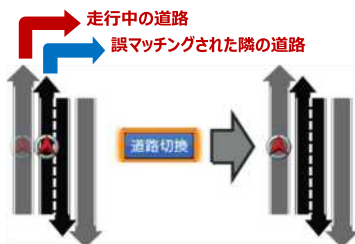
※道路条件によって道路切換ができない場合があります。

■道路条件

周辺に一般道路以上の道路がある場合。
(細街路は適用されていません。)

■動作結果

- 1) マップマッチング中の道路以外の周辺道路を探します。
- 2) 切り換えした道路にマップマッチングし、再探索を行います。
- 3) 新しいルート情報でルート案内を続けます。



〔ガイド〕をタッチします。



〔道路切換〕をタッチします。



切り換えた道路にマップマッチングされました。

ナビゲーション基本操作（つづき）

案内画面：高速道路2画面ルート案内

高速道路の走行中にはジャンクションなどの分岐情報を2画面で表示します。

【高速道路情報画面について】



1. 高速道路情報画面

インターチェンジやジャンクション、サービスエリアなどの高速道路の情報を表示します。高速道路を走行中のみ距離の近い順に表示します。

2. 高速道路情報表示コントロールキー

表示する地点情報を移動しながら確認することができます。



現在地点に戻ります。



一区間後ろの地点に移動して表示します。



一区間先の地点に移動して表示します。

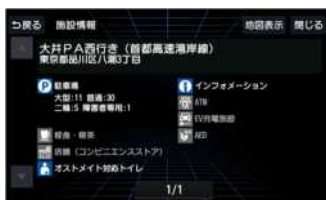


高速案内の最後地点（出口）を表示します。

3. SA/PA情報表示

SA/PA施設情報を表示します。

画面をタッチすると、施設情報画面を表示します。



【ハイウェイ画面で表示されるSA/PAアイコン】



レストラン



ガソリンスタンド



宿泊・休憩



バリアフリー



ベビー＆キッズ施設



軽食・喫茶



店舗（コンビニエンスストア）



オストメイト対応トイレ



インフォメーション



ATM

※デモ走行中は施設情報画面は表示できません。

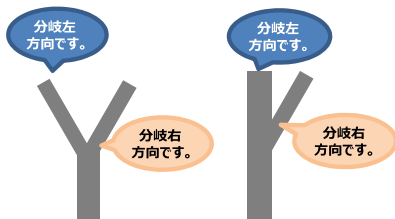
【ジャンクションビューについて】



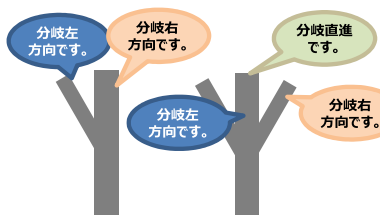
1. ジャンクションビュー

案内地点1km手前から高速道路上のジャンクションや出口のイメージなどを表示します。

【高速道路分岐でのご案内】



ナビゲーション基本操作 (つづき)



ルートの再探索について

本機はルートから外れると自動的に再探索するように初期設定されていますが、〔ガイド〕をタッチして「再探索」をタッチすると、ルートを再探索することができます。

※目的地までの距離が遠い場合や経由地を多数設定している場合には再探索に時間がかかる場合があります。

※出発地付近では再探索を開始する距離がより大きな場合があります。

※実際はルートを外れていなくても、GPS電波の誤差により、ナビゲーションがルートを外れていると認識することもあります。この場合、ルートの再探索を行っても画面の自転車位置が道路上にいない場合は探索ができない場合があります。幅の広い道路などGPS電波を受信しやすい場所に移動し、本機の位置が道路上にあることを確認してから再探索などの操作を行ってください。

※ルートを再探索する場合、計算時間によりルートの出発地点を既に通過している場合があります。

拡大図の表示・非表示について

交差点や高速道路の2画面表示中に右画面をタッチすると拡大図などを閉じて地図画面を大きく表示します。再び「」ボタンをタッチすると2画面表示に切り換わります。

※タッチにより設定を変更するとルート案内中に適用されます。



再探索を行う

ナビゲーション基本操作（つづき）

オービス案内について

走行中、前方の安全速度に注意が必要な区間（固定式のオービス設置地点）では安全運転のために案内を行います。

- 案内ポイント：全国の固定式オービス設置箇所です。
- 走行中の道路に並行して道路がある場合は隣の道路のオービス地点を案内する場合があります。
- GPSの誤差により周辺の地点を案内する場合があります。

※オービス設置場所の道路状況によっては案内しない場合があります。

- オービス設置地点を通過するとメロディが鳴ります。
- 経路案内とオービスの案内が重なる場合は経路案内を優先して案内します。
- オービス案内は参考情報です。実際の位置と異なる場合がありますので、安全運転にご注意ください。

※オービス案内は全国すべての設置場所を登録しているわけではありません。
また、すでに撤去されている場合があります。



オービス案内画面

目的地を探してルート案内する

目的地を探してルート案内する

目的地を探してルート案内する

ここでは検索方法の例として「ジャンル検索」を利用し、「東京国際空港」を探して目的地に設定する方法を説明します。

1 「メニュー」から目的地の検索方法を選択する



メニューから検索方法を選択します。
ここでは、「ジャンル」をタッチします。

4 地域を選択する



検索地域を選択します。
画面左側の「た」をタッチして[東京都]をタッチします。

※地名は50音順に分類されています。画面左のあ〜わ行をタッチすると、右側に地名が表示されます。

2 ジャンルを選択する



ジャンルを選択します。
「交通施設」をタッチします。

3 サブジャンルを選択する



サブジャンルを選択します。
「空港」をタッチします。



画面左側の「あ」をタッチして[大田区]をタッチします。

目的地を探してルート案内する（つづき）

5 検索結果リストから施設を選択する



検索結果が表示されます。
リストから目的の施設をタッチします。
選択した施設に出入口情報がある場合は右側の
出入口リストアイコンをタッチして確認することができ
ます。



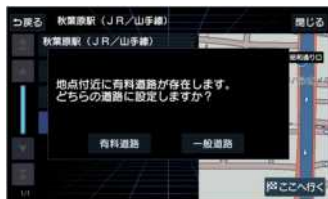
「◀」をタッチすると、地図を全画面で表示します。
施設を選択し、「ここへ行く」をタッチします。

現在地の設定とルート探索について

ルート探索の出発地は、自動的に現在地に設定されて
います。GPS電波の入らない場所で使用している時は、
現在地が最後にGPS電波を受信した場所になっており、
その地点からのルートが検索されるため、正しいルートに
ならない場合があります。GPS電波が入りにくい場所では、
「ルート編集」から出発地を設定し、ルートを探索する
ことをおすすめします。

目的地点の道路設定について

目的地に設定する地点の周辺に有料道路（高速道
路、都市高速道路を含む）がある場合、目的地点の
道路を設定することができます。



目的地を設定してルート探索するとき、有料道
路上に設定するかどうか確認メッセージが表示さ
れる場合があります。有料道路（高速道路、都
市高速道路を含む）上に設定する場合は〔有
料道路〕を、一般道路上に設定する場合は〔一
般道路〕をタッチしてください。

6 ルート探索を行う



現在地から選択した地点までのルートが表示されます。
探索条件を変更することもできます。
「案内スタート」をタッチするとルート案内を始めます。

目的地を検索する

目的地を検索する

ナビゲーション操作は、行き先を探すことから始まります。目的地の地図を表示させることができれば、そこまでのルートを設定したり、詳細情報を見たりすることができます。ここでは、さまざまな検索方法を利用し、行き先を探すことを説明しています。

名称から検索する

行き先の施設名などの名称を直接入力することで地点を検索することができます。

5. 「←」ボタンをタッチすると、1文字ずつ消去されます。
6. 文字入力後は「検索」をタッチします。
次の画面で候補となる名称が表示されます。
7. 漢字への変換はできません。

1 「メニュー」⇒「名称」をタッチする



メニューから「名称」をタッチします。

3 検索結果リストから指定する



検索結果リストが表示されます。
リストから目的の施設をタッチします。
「◀」をタッチすると地図を全画面で表示します。
「ここへ行く」ボタンをタッチすると、現在地から選択した場所までのルート探索を行います。

2 キーワードを入力する

入力により候補となる地点の数が表示されます。



キーワードを入力し、「検索」をタッチします。

4 全画面で地図を確認する



選択した施設周辺の地図が表示されます。
「ここへ行く」ボタンをタッチすると、現在地から選択した場所までのルート探索を行います。

【キーワードの入力方法について】

1. 検索したい名称をひらがなで入力します。
2. ひらがなで行き先の名称をタッチします。
3. 「だ」「ぱ」などの濁音、半濁音は、ひらがなを入力した後に、「ゝ」「っ」をタッチします。
4. 「ゃ」「ゅ」「ょ」「っ」など小さい文字の入力は、〔小文字〕をタッチしてから選びます。

目的地を検索する（つづき）

住所から検索する

行き先の住所や地名で探すことを説明します。

1 「メニュー」⇒「住所」をタッチする



メニューから「住所」をタッチします。

2 都道府県を選択する



目的地の都道府県を選びます。

3 詳細住所を選択する



目的地を検索する（つづき）



選択した施設周辺の地図が表示されます。
「ここへ行く」をタッチすると、現在地から選択した場所までのルート探索を行います。

電話番号から検索する

本製品にはハローページに掲載されている全国の施設、お店、企業などの電話番号が収録されています。
行き先の電話番号を入力して探すことを説明します。

1 「メニュー」⇒「電話番号」をタッチする



メニューから「電話番号」をタッチします。

2 電話番号を入力する



「電話番号」を入力して「検索」をタッチします。

【電話番号の入力方法について】

1. 市外局番を含む番号を入力します。
2. -（ハイフン）は入力しません。
3. 数字入力後は「検索」をタッチすると、一致するデータを次の画面に表示します。
4. 一致するデータが表示されない場合は電話番号による検索はできません。他の検索方法で地点を検索してください。
5. 入力した電話番号がデータに存在しない場合は「該当データがありません。」とメッセージが表示されます。

※収録されていない施設もありますので、電話番号で検索できない場合は、他の情報（住所など）を利用して検索してください。

3 地図を確認する



施設周辺の地図が表示されます。
「ここへ行く」ボタンをタッチすると、現在地から選択した場所までのルート探索を行います。

目的地を検索する（つづき）

ジャンルから検索する

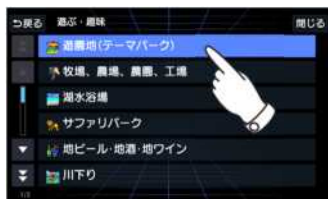
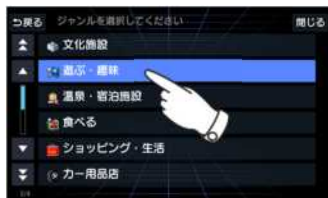
ジャンルリストから各種施設を探すことを説明します。

1 「メニュー」⇒「ジャンル」をタッチする



メニューから「ジャンル」をタッチします。

2 目的の施設のジャンルをタッチする （大分類⇒中分類⇒小分類）



目的の施設のジャンルを大分類⇒中分類⇒小分類の順にタッチします。

3 地域を選択する



検索地域を選択します。

※地名は50音順に分類されています。
画面左のあ〜わ行をタッチすると、右側に地名が表示されます。



検索地域を選択します。

4 目的の施設をタッチする



リストから目的の施設をタッチします。
「◀」をタッチすると地図を全画面で表示します。
「ここへ行く」ボタンをタッチすると、現在地から選択した場所までのルート探索を行います。

目的地を検索する（つづき）

検索履歴から検索する

一度検索した地点は自動的に保存され、ルートを設定することができます。

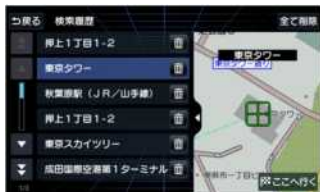
検索履歴は、新しいものから順に200件まで保存されます。200件を超えると、古いものは順次消去されます。よく使う地点は地点登録をすることをおすすめします。

1 「メニュー」⇒「検索履歴」をタッチする



メニューから「検索履歴」をタッチします。

2 リストから施設を選択する



検索履歴リストが表示されます。

「◀」をタッチすると地図を全画面で表示します。

「ここへ行く」ボタンをタッチすると、現在地から選択した場所までのルート探索を行います。

リストから目的の施設をタッチします。

3 全画面で地図を確認する



選択した施設周辺の地図が表示されます。「ここへ行く」ボタンをタッチすると、現在地から選択した場所までのルート探索を行います。

目的地を検索する（つづき）

周辺施設を検索する

周辺施設検索では、選択された地点周辺の施設を検索し、目的地／出発地に設定することができます。施設は周辺10km以内の近い順に最大20件まで候補として検索されます。（ジャンル・地点により検索件数が異なります。）ここでは、現在地の周辺施設を検索する方法を説明します。

1 「メニュー」⇒「周辺施設」をタッチする



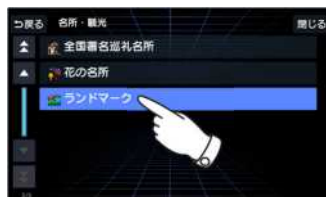
メニューから「周辺施設」をタッチします。

2 ジャンルを選択する（大分類）



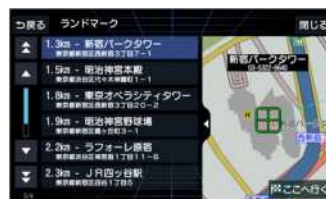
目的のジャンル（大分類）をタッチします。

3 ジャンルを選択する（中分類、小分類）



目的のジャンル（中分類、小分類）をタッチします。

4 目的の施設をタッチする



リストから目的の施設をタッチします。
「◀」をタッチすると地図を全画面で表示します。
「ここへ行く」ボタンをタッチすると、現在地から選択した場所までのルート探索を行います。

目的地を検索する（つづき）

施設情報表示〔SA/PA〕

ジャンル検索、周辺施設検索、高速道路案内(※)で施設情報を確認することができます。
施設情報は、SA/PA、道の駅を検索する時に表示されます。

※デモ走行中の高速道路案内では施設情報は確認できません。

※道の駅の施設情報は高速道路案内では表示されません。

リストから施設をタッチすると、施設情報画面を表示します。施設情報画面では、駐車場情報やトイレなどの施設情報を表示します。〔地図表示〕をタッチして施設の地図を表示することができます。



〔SA/PA〕



〔SA/PAで表示される情報〕

- レストラン
- ガソリンスタンド
- 宿泊・休憩
- バリアフリー
- ベビー＆キッズ施設
- ショップ・お土産
- 生活・日用品
- 医療対応
- 高速道路・ETCサービス
- ペット施設
- 駐車場
- トイレ
- 障害者施設
- 軽食・喫茶
- 店舗（コンビニエンスストア）
- オストメイト対応トイレ
- インフォメーション
- ATM
- EV充電施設
- AED

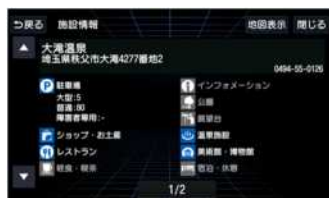
※一部のSA/PA、道の駅では施設情報が表示されない場合があります。

目的地を検索する（つづき）

施設情報表示〔道の駅〕



〔道の駅〕



〔道の駅で表示される情報〕

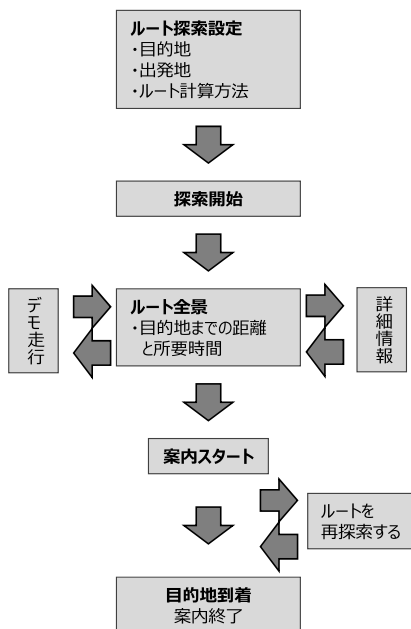
-  ショップ・お土産
-  軽食・喫茶
-  公園
-  温泉施設
-  宿泊・休憩
-  ガソリンスタンド
-  障害者施設
-  ベビー&キッズ施設
-  EV充電施設
-  駐車場
-  レストラン
-  インフォメーション
-  展望台
-  美術館・博物館
-  キャンプ場等
-  体験施設
-  ATM
-  シャワー
-  無線LAN

ルートを編集してルート案内する

ルートを編集してルート案内する

ルート編集～ルート走行の流れ

目的地までのルートを編集し、ルート走行するには、以下の手順で操作します。



ルートを編集してルート案内する

ここではルートを編集して現在地から「東京スカイツリー」までのルートを案内する方法を説明します。

1 「メニュー」⇒「ルート」をタッチする



メニューから「ルート」をタッチします。

2 地域を選択する



ルート編集画面が表示されます。
[目的地]をタッチします。

3 検索方法を選択する



ここでは、検索方法の例として「名称」を利用します。
[名称]をタッチします。

ルートを編集してルート案内する（つづき）

4 名称を入力する

入力により候補となる地点の数が表示されます。

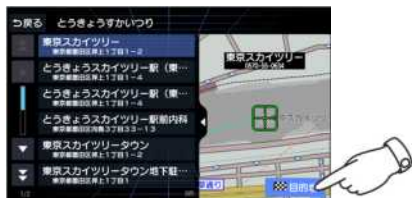


目的施設の名称を入力します。
「とうきょうスカイツリー」を入力して「検索」
ボタンをタッチします。

【名称の入力方法について】

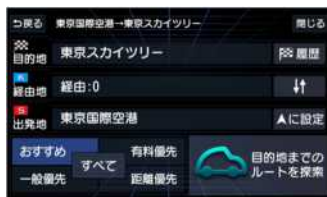
1. 検索したい名称をひらがなで入力します。
ひらがなで行き先の名称をタッチします。
2. 「だ」「ば」などの濁音、半濁音は、ひらがなを
入力した後に、「゛」「゜」をタッチします。
3. 「ゃ」「ゅ」「ょ」「っ」など小さい文字の入力は、
[小文字]をタッチしてから選びます。
4. 「←」ボタンをタッチすると、1文字ずつ消去
されます。
5. 文字入力後は「検索」をタッチします。
次の画面で候補となる名称が表示されます。
6. 漢字への変換はできません。

5 リストから目的の施設を選択する



目的の施設を選択し、「目的地」をタッチすると、
目的地に設定されます。
「東京スカイツリー」を選択し、「目的地」を
タッチします。

6 出発地を確認する



出発地は、通常は現在地に設定されます。
出発地を別の場所に設定するときは、「出発地」
をタッチして目的地設定と同じ方法で出発地を
検索し、設定します。

※出発地を現在地に戻したい場合は「現在地
に設定」ボタンをタッチします。

7 探索条件を確認する



4つのルート計算方法から状況に応じて最適な
方法を選んでください。
「すべて」をタッチすると、4つの探索条件でルート
を探索します。

ルートを編集してルート案内する（つづき）

ルート計算方法について

【おすすめ】

幅の広い幹線道路を優先して探索します。
目的地までの距離が他の方法よりも遠回りする場合があります。

【有料優先】

有料道路をなるべく使ったルートを探します。
距離が短い場合や目的方向に高速道路のICが存在しない場合など、条件によっては高速道路などを使用しない場合があります。

【一般優先】

有料道路をなるべく使わないルートを探します。
目的地までの直線距離がおよそ500km以内の時に使えます。

【距離優先】

なるべく距離が短いルートを探します。
（必ず最短距離になるとは限りません。目的地までの直線距離がおよそ300km以内の時に使えます。）

ルート計算時の注意点

次のような場合はルート計算ができない場合があります。

■ 出発地と目的地が近すぎる場合

この場合は地点を再設定してください。

■ 出発地、あるいは目的地の近くにルート探索データが存在しない場合

地点をなるべく幅の広い道路の上に設定してください。

■ ルート計算時間が長すぎる場合

ルート計算条件を変更して探索してください。
（例：フェリーを利用しない条件に設定するなど）
長距離の探索ではルート計算時間が長くなる場合もあります。

■ 走行中にルートの再探索ができない場合

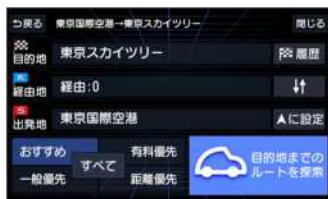
ルートから外れてルート計算が出来ない細街路を走行する場合はルート再探索ができず、直前のルートをそのまま、表示する場合があります。
この場合はなるべく元のルートに戻ってください。
ルート以外の幅の広い道路に入ると再探索を開始するのでなるべく近くの幅の広い道路を走行してください。
長距離での再探索は時間がかかる場合があります。
なるべく安全な場所に一時停車してから再探索を行ってください。

経由地を設定する

目的地までのルートを探る時に経由地を設定することにより希望するルートに近い案内を探索することができます。経由地は最大5ヶ所まで設定できます。

8

ルートを探索する



「目的地までのルートを探索」をタッチします。

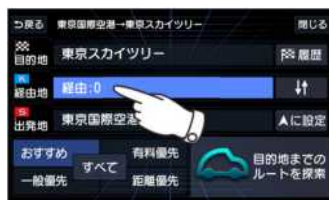


ルート計算中の画面です。「x」を押すと、ルート探索をキャンセルします。

※長距離でのルート計算は計算時間が長くなる場合があります。

1

経由地をタッチする



「経由地」をタッチします。

ルートを編集してルート案内する（つづき）

2 「追加」をタッチする



経由地を追加するため、「追加」ボタンをタッチします。

5 地図を確認し、経由地に設定する



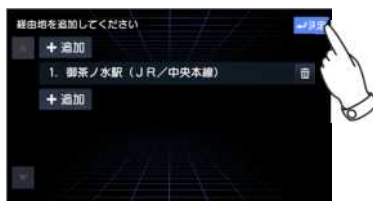
地図から「経由地」をタッチします。
経由地を設定すると設定地点から一番近いルート案内できる道路にルートが設定されます。
より正確なルート案内のために経由地はなるべく通りたい道路に設定してください。
道路から離れた地点に設定すると経由地付近でルートが遠回りすることがあります。

3 経由地を検索する



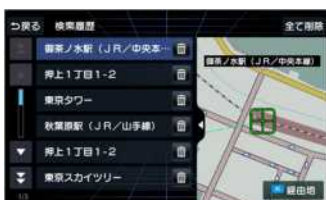
「検索履歴」をタッチします。

6 経由地リストを確認する



「決定」ボタンをタッチするとルート編集画面に戻ります。

4 経由地を選択する



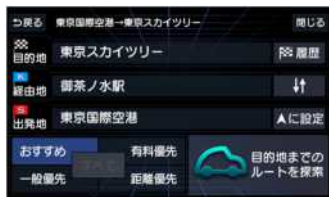
検索履歴は新しいものから順に200件まで保存されています。200件を超えると、古いものは順次消去されます。よく使う地点は地点登録しておく便利です。経由地に設定したい施設をリストから選択します。

「◀」をタッチすると地図を全画面で表示します。

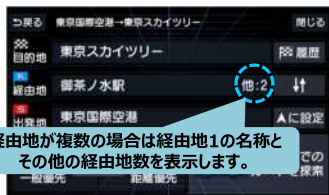
- ・設定した経由地を削除したい場合は(削除)ボタンをタッチします。
- ・(追加)ボタンをタッチして経由地を追加することができます。
- ・追加したい場所の(追加)ボタンをタッチします。地点の上の(追加)ボタンをタッチすると、地点の前に追加することができます。
- ・地点の下に(追加)ボタンをタッチすると、地点の後ろに追加することができます。



7 経由地を確認する



設定した経由地が表示されます。



経由地が複数の場合は経由地1の名称とその他の経由地数を表示します。

経由地設定時の注意点

経由地を設定すると設定地点から一番近い道路を選択してルートを探します。
設定地点によってはルート探索結果が経由地付近で最適にならない場合もあります。
経由地設定機能を有効に利用するためには次の事項に注意してください。

- **経由地に寄りたい場合。**
地点を検索すると道路から離れた場所になりますので地図を移動してなるべく経由地の近い道路上に地点を設定してください。
道路上に設定しないと、経由地に案内できない場合があります。
- **経由地に寄らず、その周辺の主要道路を通過して目的地に向きたい場合。**
経由地を検索してその周辺の主要道路上に地点を設定してください。
- **経由地の案内**
経由地設定地点の約300m前で“まもなく経由地周辺です。”と音声案内を行います。
経由地通過後に行われるルートの再探索は、すでに通過した経由地へは案内せず、次の経由地を案内するようにルート探索を行います。

■ 次のような経由地設定ではルート探索が失敗する可能性があります。

- ・一方通行道路上に経由地を設定した場合。
- ・道路からかなり遠く離れた地点に経由地を設定した場合。
- ・経由地の間を道路判別ができないほど近く設定した場合。
- ・海、島などに経由地を設定した場合。

■ 複数の経由地を登録した場合、目的地までの走行距離が長くなる場合があります。

■ 経由地の登録が多くなると、ルート探索に時間がかかります。

■ 設定した探索条件によっては探索が終了しない場合があります。その場合には経由地を減らしたり、目的地を変更したりと条件を変更して探索を行ってください。

ルート全景画面とルート案内

ルート探索が終了すると、ルート全景画面が表示されます。



選択した探索条件のルートを確認してから、「案内スタート」をタッチすると、選択した探索条件でのルート案内を始めます。

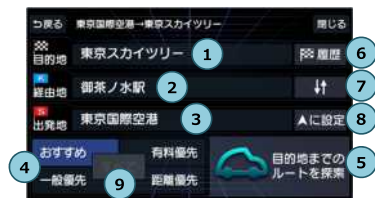
※ルート全景画面の走行距離は参考値です。
実際の道路状態により異なる場合があります。

※所要時間は道路別の平均走行速度を推定して計算した参考値です。本製品では平均速度を一般道路は時速30km／高速道路80kmで計算します。実際の所要時間と誤差が生じる場合があります。

ルートを編集してルート案内する（つづき）

ルート編集画面について

ルート編集画面の見かたや操作について説明します。



1.目的地

目的地を選択します。

2.経由地

経由地を設定します。

3.出発地

出発地点を選択します。

通常は現在地に設定されています。

4.ルート探索条件

ルートを探索するときの道路条件を設定します。

5.目的地までのルートを探索

設定した条件で探索を始めます。

6.目的地履歴

目的地の設定履歴を表示します。

7.帰路（走行方向）

出発地と目的地を入れ替えます。

8.出発地を現在地に設定

出発地を現在地に設定します。

9.複数ルート

4つのルート計算方法でのルートを同時に探索して選ぶことができます。

※短距離では各ルートごとの違いがない場合があります。

※普通のルート計算より探索時間が長くなります。

※経由地を設定しているときはご利用することができません。

ルート全景画面について

ルート全景画面の見かたや操作について説明します。



1.走行距離と所要時間

ルートの総距離を表します。（参考値）

目安となる所要時間です。

一般道路30km/h、高速道路80km/hでの走行を基準に算出しています。

2.案内スタート

タッチするとルート案内を開始します。

3.詳細情報

探索されたルートの右左折地点など主要ポイントを確認することができます。

4.デモ走行

探索したルートをデモ走行します。

デモ走行を行う

デモ走行は事前にどのようなルートを通るのか、どのような音声案内を行うのかなどを確認することができます。



ルート全景画面から「デモ走行」をタッチすると、デモ走行が開始されます。

画面上の「加速」「減速」をタッチしてデモ走行の速度を調整することができます。

「戻る」をタッチするとルート全景画面に戻ります。

ナビゲーションの設定

ナビゲーションの設定

ナビゲーション使用中のさまざまな表示方法などを変更することができます。
NAVIメニューの「NAVI設定」からナビゲーションの各種設定を変更する方法を説明します。

設定を変更する

設定を変更したい項目をタッチしてお使いになる環境に応じて、設定を変更してください。

1 「メニュー」⇒「NAVI設定」をタッチする

メニューから「NAVI設定」をタッチします。



地図表示

地図表示設定を変更します。



地図表示：地図色

地図の背景色を変更します。

【昼モード】

地図の背景色を薄い灰色で表示します。

【夜モード】

地図の背景色を黒で表示します。

【オート】

現在の時刻を参考して自動的に切り替わります。

（GPS受信時）

【4月から9月まで】18時から6時の間は夜モードに切り換えます。

【10月から3月まで】17時から7時の間は夜モードに切り換えます。

2 設定を変更したいカテゴリーをタッチする



カテゴリーが表示されます。設定を変更したいカテゴリーをタッチすると、当該リストが現在の設定値と共に表示されます。

「設定値初期化」をタッチすると、現在の設定値をすべて初期化します。



昼モード



夜モード

ナビゲーションの設定（つづき）

地図表示：地図上の文字サイズ

地図上の文字サイズを変更します。
文字サイズは「標準」「大」「小」から選択ができます。
ご希望のサイズを選択してください。
初期設定は「標準」です。

【標準】

地図上の文字サイズを標準サイズで表示します。

【大】

地図上の文字サイズを大きく表示します。

【小】

地図上の文字サイズを小さく表示します。



【標準】



【大】



【小】

地図表示：走行軌跡表示

走行した軌跡を白丸で地図上に表示します。

【する】

軌跡を地図上に表示します。軌跡は走行中、2秒ごとに約2時間分表示されます。

※電源を切ると自動的に消去されます。

【しない】

走行軌跡を地図上に表示しません。

地図表示：一方通行アイコン

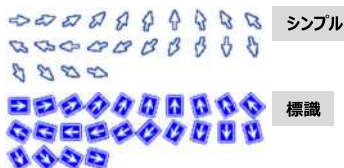
一方通行アイコンを設定します。

【シンプル】

シンプルアイコンで一方通行を表示します。

【標識】

標識のアイコンで一方通行を表示します。



地図表示：スクロールモード

地図をスクロールする時の操作方法を設定します。

【タップ】

地図をタッチすると、タッチした地点を画面の中心に移動させます。また、スクロールしたい方向の地図画面を長く押すと、連続で地図をスクロールすることができます。

【ドラッグ】

地図画面をドラッグして設定したい箇所に移動させることができます。連続スクロールの操作はできません。

地図表示：自転車アイコン色

自転車アイコン色を変更することができます。

【標準】

自転車アイコンを赤色で表示します。

【ブルー】

自転車アイコンをブルーで表示します。

【イエロー】

自転車アイコンをイエローで表示します。

ナビゲーションの設定（つづき）

ランドマーク

ランドマーク表示を設定します。



表示したいカテゴリーを選択すると、選択したカテゴリーのランドマークを地図上に表示します。



ランドマーク
表示

探索設定

ルート探索の条件などを設定します。



探索設定：自動再探索

ルート案内中にルートを外れたとき、ルート再探索方法を〔オート〕・〔手動〕から設定します。

〔オート〕

案内ルートから約100m以上を離れると自動的にルート再探索を行います。

〔手動〕

自動での再探索は行いませんが、〔ルート〕をタッチして〔ルートを再探索する〕をタッチすると、いつでも再探索することができます。

※案内ルートに戻るとルート案内を再開します。

探索設定：探索条件

ルート探索条件を設定します。ここから設定すると、ルート編集画面でも条件が変わります。

〔おすすめ〕

幅の広い幹線道路を優先して探索します。目的地までの距離が他の方法よりも遠回りする場合があります。

〔有料優先〕

有料道路をなるべく使ったルートを探します。目的方向に有料道路のICがない場合など、条件によっては有料道路を使用しない場合もあります。

〔一般優先〕

有料道路をなるべく使わないルートを探します。（目的地までの直線距離がおおよそ500km以内時）

〔距離優先〕

なるべく距離が短いルートを探します。

※必ず最短距離になるとは限りません。

（目的地までの直線距離がおおよそ300km以内時）

ナビゲーションの設定（つづき）

探索設定：フェリー利用

フェリーを利用する場合に設定してください。
ルート探索する場合、目的地を出発地と離れた島などに設定する場合、ルート探索ができないため、探索する前に〔フェリー利用〕を〔する〕と設定してください。

〔する〕

フェリーを利用するように設定します。

〔しない〕

フェリーを利用しないように設定します。
※普通のルート計算では「しない」に設定してください。
「する」に設定すると、ルート計算時間が長くなります。

探索設定：スマートIC利用

スマートIC利用を設定します。

〔する〕

ルート探索する時、スマートICを利用してルートを探します。

※この場合、必ずETCカードを車載器に挿入して通行ください。また、利用できる時間帯や車種などに制約がありますので、ご理解の上、ご利用ください。

〔しない〕

ETC車載器を搭載していない場合に設定します。

探索設定：時間規制考慮

通行規制の時刻を考慮したルート探索を行います。

〔する〕

通行規制の時刻を考慮したルート探索を行います。

※目的地によっては、時間規制考慮ルート探索の結果、探索できない場合があります。また、時間・曜日・月日の条件付で時間規制考慮ルート探索を行う場合は、探索開始の時刻を基準に考慮します。

〔しない〕

通行規制の時刻を考慮しないルート探索を行います。

案内設定

ルート案内中の条件などを設定します。



案内設定：トンネル・アシスト

トンネル内でトンネル追従走行を実施します。

〔する〕

トンネル内でGPS受信ができない状態でも以前のGPS情報を利用して走行速度を予測して経路案内を続けます。仮想走行はトンネルの出口で停止した後、GPSが受信できれば案内を再開します。

※トンネル進入前のGPS情報を利用して走行速度を予測し、トンネル追従機能として使えます。
但し、仮想走行の速度には誤差が生じる場合があります。

〔しない〕

トンネル・アシスト機能を設定しません。

案内設定：専用レーン情報案内

専用レーンの案内を設定します。走行中の道路に専用レーンがある場合、事前に車線情報を把握して右左折専用レーンの音声案内を行います。

〔する〕

走行中に右折／左折専用車線がある場合に案内します。

〔しない〕

専用レーンを案内しません。

ナビゲーションの設定（つづき）

案内設定：合流案内

高速道路の合流の案内を設定します。

【する】

合流案内を設定します。

【しない】

合流を案内しません。



合流案内
表示画面

安全運転ガイド：踏切案内

踏み切りの案内を設定します。

【する】

踏み切り付近を走行すると案内警告マークと音声で案内します。

【しない】

踏み切りを案内しません。



踏切案内
表示画面

安全運転ガイド

安全運転ガイドを設定します。



安全運転ガイド：事故多发地点案内

事故多发地点の案内を設定します。

事故多发地点付近を走行すると案内警告マークと音声でお知らせします。

【する】

事故多发地点の案内を行います。

【しない】

事故多发地点を表示しません。



事故多发
地点案内

安全運転ガイド：一時停止案内

一時停止地点の案内を設定します。

走行中の道路に一時停止情報がある地点に近づく場合、案内を行います。

【する】

一時停止地点の案内を行います。

【しない】

一時停止地点の案内を行いません。



一時停止
案内画面

安全運転ガイド：ライト点灯案内

ライト点灯案内を設定します。

ナビゲーションの地図色が夜間モードに変更されるタイミング（4月～9月は18時、10月～3月は17時）に案内されます。

【する】

ライト点灯案内を行います。

【しない】

ライト点灯案内を行いません。

ナビゲーションの設定（つづき）



ライト点灯案内画面

GPS受信状態を確認する

設定画面から「GPS受信状態」をタッチすると、GPS衛星の受信状態が表示されます。



現在地のGPS情報画面が表示されます。

- ①移動速度 ②緯度
- ③経度 ④高度（参考値）
- ⑤時刻 ⑥GPS電波受信状況
- ⑦方位

※GPS誤差により実際とは誤差が大きい場合があります。

安全運転ガイド：急発進注意案内

急発進案内を設定します。

【する】

自車の停止状態から急発進する場合、音声でお知らせします。急発進による燃費消費を改善することができるようにサポートする機能です。急発進の判定基準は約5秒の間に車速変化が約40km/h以上の場合、急発進と判断し、注意の音声案内を行います。

【しない】

急発進案内を行いません。



急発進注意案内画面

バージョン情報を確認する

設定画面から「バージョン情報」をタッチすると、ナビアプリのバージョン情報が表示されます。



- ①ナビアプリ：ナビプログラムのバージョン
- ②地図データ：表示用データのバージョン
- ③経路データ：経路用データのバージョン
- ④検索データ：検索用データのバージョン

※本画面は販売製品の表示内容とは異なる場合があります。

安全運転ガイド：トンネル案内

トンネル案内を設定します。

【する】

走行道路上にトンネル情報がある場合、案内を行います。

【しない】

トンネル案内を行いません。



トンネル案内画面

登録地の使いかた

登録地の使いかた

地点を登録してご利用することができます。

登録地について

よく使う地点を登録しておくとう便利です。登録するデータは9個のカテゴリーで登録できます。
カテゴリー：見る、食べる、泊まる、遊ぶ、ドライブ、仕事、友人、プライベート、その他
500件まで登録できます。各カテゴリー別ではなく、全カテゴリーの登録件数が500件を超えると登録できません。

自宅を登録する

自宅を登録しておく、自宅までのルートを簡単に探索することができます。メニューから「自宅へ戻る」をタッチして、現在地から自宅までのルート案内を行います。

1 地点を検索して「登録する」をタッチする



地点を検索して、地図画面から「登録する」をタッチします。現在地画面から地図を動かして設定することもできます。

地点を登録する

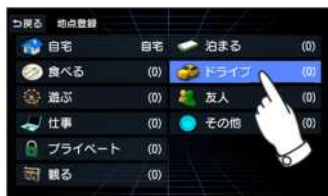
検索した地点を登録する方法を説明します。

1 地点を検索して「登録する」をタッチする



地点を検索して、地図画面から「登録する」をタッチします。

2 登録するカテゴリーをタッチする



登録したいカテゴリーをタッチします。

2 「自宅」をタッチする



「自宅」をタッチします。
ポップアップ画面から「はい」をタッチすると、登録されます。
自宅が登録された時、再び自宅登録すると、以前に登録された自宅情報は削除されます。

3 登録地名称を確認する



名称を確認し、「決定」をタッチします。
登録する名称を変えることができます。

登録地の使いかた（つづき）

登録地から検索する

登録地から目的地を設定することを説明します。

1 「メニュー」⇒「登録地」をタッチする



メニューから「登録地」をタッチします。

2 カテゴリーを選択する



目的地のカテゴリーを選択します。
「全て削除」をタッチすると、登録地情報をすべて削除します。

3 登録地を選択する



リストから登録地を選択します。
「ここへ行く」ボタンをタッチすると、現在地から選択した場所までのルート探索を行います。

登録地を編集する

登録した地点の名称を編集することを説明します。

1 「メニュー」⇒「登録地」をタッチする

2 編集したいカテゴリーを選択する 登録地を選択して編集をタッチする



名称を編集したい地点を選択して「編集」をタッチします。
削除ボタンをタッチすると、選択した登録地を削除します。

3 名称を編集する



新しい登録名を入力して「決定」をタッチします。
変更したい名称を20文字まで入力できます。
カタカナ、英字、数字、記号を入力するには、「カナ」をタッチします。入力文字は「カナ」⇒「英数」⇒「かな」の順に変わります。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら

GPS測位

こんな症状	考えられる原因と処置および確認事項
GPS電波を受信できない。	購入後、初めて使用する、または長期間使用しなかった。 （処置）見晴らしのよい場所で受信するまでお待ちください。 15～20分程度かかる場合があります。
	物陰など、GPS電波が入りにくい場所へ本体を設置している。 （処置）物陰にならない、電波が入りやすい場所へ移動させてください。
	車のフロントガラスなど、熱線吸収ガラスや熱線反射ガラス越しにGPS電波を受信しようとしている。 （処置）これらのガラスの影響の少ない位置に移動させてください。
	高層ビル付近や高架道路の下など、GPS電波が届きにくい場所で使用している。 （処置）見晴らしのよい場所へ移動してください。
	携帯電話など、電波を送受信する機器が近くにある。 （処置）原因となる機器からなるべく離して使ってください。
	雨、雪、曇天などの悪天候 （処置）GPS電波が遮られ、一時的に受信しにくくなることがありますが、天候の変化とともに電波状況が変化する為、時間と共に改善する場合があります。
	上空のGPS衛星の配置が悪い。 （処置）GPS衛星が上空に少ない状況では受信しづらいことがありますが、時間の経過とともに衛星の配置が変わり、受信状態も改善します。

故障かな?と思ったら(つづき)

地図画面

こんな症状	考えられる原因と処置および確認事項
実際とは違う場所を現在地として表示している。	GPS電波を受信していない。 (処置) GPS電波を受信していないときの現在地の表示は、最後にGPS電波を受信した場所になっています。GPS電波を受信すると正しい現在地を表示します。
現在地があちこちに飛んで表示されたり、地図が回転する。	GPS電波の受信が不安定になっている。 (処置) 現在地を正確に測位するのが難しい状況です。見晴らしのよい場所へ移動しGPS電波を受信してください。
実際にはない施設や店舗などが地図上に表示されている。	データの収録時期から実際の状況が変わっている。 (原因) データ収録時期より後に生じた変更が反映されていない場合があります。
地図色が勝手に変わる。	表示設定の地図色設定が自動に設定されている。 (処置) 自動に設定されているときは、自動的に切り換わります。変更したくない場合はNAVI設定から「地図表示」→「地図色」を昼モードまたは夜モードに選択してください。

ルート設定

こんな症状	考えられる原因と処置および確認事項
自宅へのルート探索ができない。	自宅登録が行われていない。 (処置) 自宅登録を行わないと、自宅へのルート案内はできません。自宅が現在地になっているときは、地点ポップアップメニューから自宅位置を表示し、自宅登録を行ってください。
ルート案内画面に案内情報ウィンドウ「交差点拡大図など」が表示されない。	ルート案内中に「拡大図」や「ハイウェイ」ボタンをタッチして案内情報を表示しないように設定されている。 (処置) ルート案内中に再び「拡大図」や「ハイウェイ」ボタンをタッチしてください。
ハイウェイマップが表示されない。	案内表示に縮小されて表示されない。 (処置) 「ハイウェイ」ボタンをタッチすると、ハイウェイマップを表示します。
有料道路や高速道路にののに、画面上では立行する一般道にいる。	測位誤差などにより起こる現象。 (処置) 「道路切換」を選択すると、変更することができます。

ソフトウェア仕様

ソフトウェア仕様

ナビゲーション・ソフトウェアの仕様を説明しています。

型番		PNX-D79
地図DB	地図データ提供社	(株) ゼンリン
	地図データ	2018年10月締め
地図表示	地図縮尺	12ステップ (10m～50km)
検索	住所検索	約3,858万件
	名称入力検索	約222万件
	ジャンル検索	約238万件
	施設出入口検索	約46万件 (ジャンル検索時)
	電話番号検索	約562万件
	履歴検索	200件
	登録地点検索	○
経路	ルート探索	4タイプ (おすすめ、有料優先、一般優先、距離優先)
	ルート再探索	オート、手動
	経由地設定	5箇所
案内	一般道レーン案内	○
	道路切換	○
	ジャンクションビュー	○ (3,501箇所)
	安全運転案内	○ (オービス、取締ポイント、事故多発地点、踏切、一時停止、休憩、急発進注意、ライト点灯、トンネル)

※仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

